

# 九州U-15トレセンリーグ報告

期 日 11月29日・11月30日

会 場 中津江村(鯛生スポーツセンター)

大会結果 Aパート(福岡・宮崎・佐賀・長崎)  
Bパート(熊本・沖縄・大分・鹿児島)

※今年7月のトレセン大会の結果よりパート分けを行う。

(予選リーグ)

長崎-福岡 (1-5)	佐賀-宮崎 (3-3)
沖縄-熊本 (2-2)	鹿児島-大分 (1-0)
佐賀-福岡 (2-4)	長崎-宮崎 (1-2)
鹿児島-沖縄 (7-1)	熊本-大分 (2-1)
福岡-宮崎 (2-0)	佐賀-長崎 (5-3)
沖縄-大分 (0-3)	熊本-鹿児島 (1-2)

Aパート(福岡3勝・宮崎1勝1敗1分け・宮崎1勝1分け1敗・長崎3敗)

Bパート(鹿児島3勝・熊本1勝1分け1敗・大分1勝2敗・沖縄3敗)

(順位決定戦)

優勝決定戦 鹿児島-福岡 (3-2)	1位 鹿児島	2位 福岡
3位決定戦 熊本-佐賀 (3-1)	3位 熊本	4位 佐賀
5位決定戦 宮崎-大分 (1-2)	5位 大分	6位 宮崎
7位決定戦 沖縄-長崎 (6-0)	7位 長崎	8位 沖縄

(総括)

今年も昨年と同じようなスケジュールでトレセンマッチを行った。橋川・島田トレセンコーチに昨年同様 U16 代表監督の吉武監督にも参加して頂いての開催となった。今年度は、九州トレセン地域対抗戦を各県の3種技術委員長で見に行った事もあり、そのイメージを持って各県チームに臨んだ。コンパクト・ハイプレッシャーを合い言葉にゲームを進めていったが、時間によって出来る時と出来ない時があったり、ボールを奪う事は出来ても、その後どう攻撃をしていくのか、攻撃に移るところで簡単にボールを失ってしまう事は、これからの課題になった。さらに、それに加えて、今回はスタッフのゲームの中への関わりが話題になり、基本的な事が出来ない時、やろうとしていない時は、もっと外からコーチがきちんと指摘して、やらせる事も必要だという事も確認できた。子どもの判断を奪わないという事とその所へのコーチングについてははっきりと区別するという事で確認を行い、随分と効果的なコーチングも、ゲームが進むにつれて増えてきたように感じた。九州としての良さ(強さや粘り、力強さなど)を失わないようにして、自分で判断してプレーできる力とそれを実行できるテクニックを身につけられれば、必ず代表に入る選手を輩出できるという、大きな期待を抱いている。

さらに質の高い、ハイプレッシャーのゲームが出来るように、今後もこの大会を継続させていきたいと思っている。